Rotary

4 March 2022

Rotary International District 2570
GOVERNOR's Monthly Letter
2021-2022年度 ガバナー月信Vol.10／4月号

母子の健康月間

SERVE TO CHANGE LIVES

［地区スローガン］
もっと夢を もっと奉仕を
More dreams More service

Govennor's Message

ガバナーメッセージ

水村雅啓
Masahiro Mizumura
入間
2021-2022年度国際ロータリー
第2570地区ガバナー

成熟社会にふさわしい活力ある社会をつくって行くためには、多様化、高度化する時代の流れを敏感にとらえ、的確に対応していく必要があります。特に「女性」は多様性（ダイバーシティ）の重要な要素であり、女性の活躍が進むことで、多様な視点や価値観、創意工夫がもたらされ、社会を変える力となります。ロータリーも「女性の活躍」が求められています。

ガバナーメッセージとして、折節に思う事柄を書かせていただきます。少しでも皆さんの胸中にたぎりを感じるような発信をしていきたいと思います。

「女性ロータリアン」
Women's POWER

今、世界では、多くの女性会員が活躍しています。

女性会員誕生の歴史

最初に女性会員承認を、国際大会理事会に提案したのは、スリランカのマウントラビニアＲＣで、1964年のことです。しかし、これは否決されました。

1978年、米国カリフォルニア州のデュアルテ・ロータリー・クラブが、3人の女性に入会を勧めました。国際ロータリーの理事会は、このクラブがRIの定款に違反したとして、その加盟認証を取り消しました。クラブはこれを、職場や公共施設におけるあらゆる形の差別を防止するという市民権法に対する違反であると主張し、RIを相手に訴訟を起こしました。何度も敗訴しますが控訴し、1987年5月4日、米国連邦最高裁判所は、ロータリークラブが性別を理由に女性を会員として拒否することはできないという判決を下しました。

1989年の規定審議会でロータリークラブの会員は男性に限られるとするRI定款の要件を削除するよう決定しました。女性は世界中のロータリークラブで入会が認められることとなります。そして、カリフォルニア州デュアルテ・ロータリークラブは1986年9月に遡って国際ロータリーに復帰加盟しました。めでたし！　です。

日本の女性会員第1号

1989年（31年前）、第250地区北海道清水RC（現在の第2500地区清水RC）の松田郁子（NTT十勝営業所長）さんです。大都市のクラブかと思いきや、意外でした！　現在も2名の女性会員が伝統を引き継ぎ活躍されているそうです。

現在、女性はロータリーの高いレベルの役職で活躍し、「女性会員が入会する事で、クラブはもとより組織が大きく変わる」こととなりました。2570地区では女性会員は現在105名を数えるまでになりました。今後も多くの入会を各クラブの皆様の力でお願いします。

女性会員が国際女性デーで人道奉仕についてスピーチ

ロータリー初の女性RI会長に ジェニファー E. ジョーンズ氏

2022-23年度国際ロータリー会長として、ウィンザー・ローズランド・ロータリークラブ（カナダ、オンタリオ州）会員のジェニファー E. ジョーンズ氏が指名されました。115年に及ぶロータリーの歴史で初の女性会長となります。

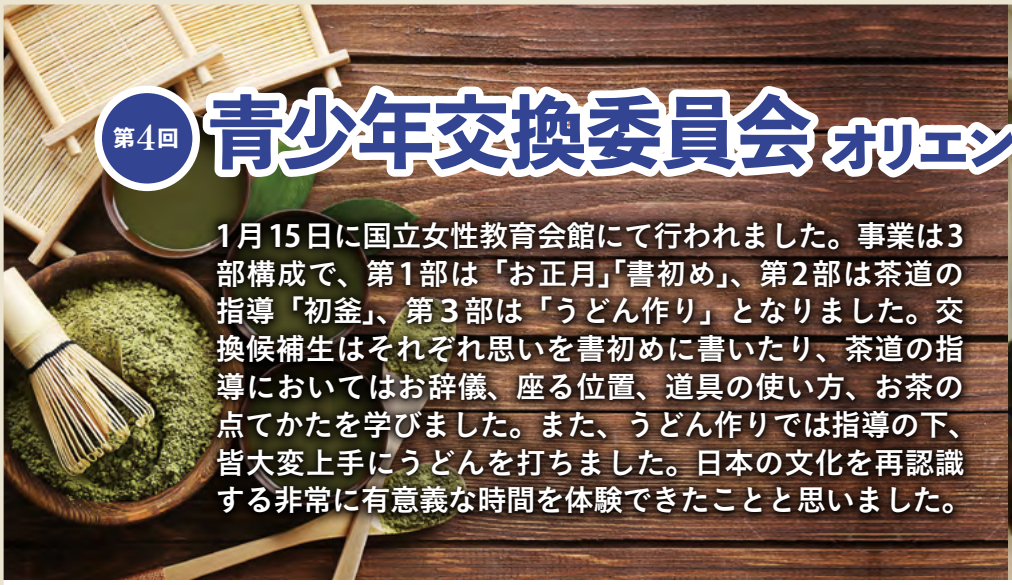
ジョーンズ会長エレクトは、1月20日、次年度の地区ガバナーに向けた講演をオンラインでライブ配信し、2022-23年度の会長テーマ「イマジン ロータリー／Imagine Rotary」を発表しました。

ジョーンズ氏は講演の中で、世界にもたらせる変化を想像して大きな夢を描き、その実現のためにロータリーの力とつながりを生かすよう呼びかけました。

現ロータリー財団管理委員であるジョーンズ氏は、1997年にロータリーに入会し、RI副会長、理事、研修リーダー、委員会委員長、モデレーター、地区ガバナーを歴任しました。また、ロータリー強化諮問グループ委員長を務め、ロータリーのブランド活性化の取り組みでリーダー的役割を担いました。現在は、ポリオ根絶活動のために1億5000万ドルのファンドレイジングを目指す、「End Polio Now：歴史をつくるカウントダウンキャンペーン委員会」の共同委員長を務めています。

2022-23年度国際ロータリー会長のジェニファー E. ジョーンズ氏と、2022-23テーマロゴ（下）

イマジン ロータリー



第4回 青少年交換委員会 オリエンテーション

1月15日に国立女性教育会館にて行われました。事業は3部構成で、第1部は「お正月」「書初め」、第2部は茶道の指導「初釜」、第3部は「うどん作り」となりました。交換候補生はそれぞれ思いを書初めに書いたり、茶道の指導においてはお辞儀、座る位置、道具の使い方、お茶の点てかたを学びました。また、うどん作りでは指導の下、皆大変上手にうどんを打ちました。日本の文化を再認識する非常に有意義な時間を体験できたことと思いました。

◉派遣候補生の感想文

今回、日本のお正月の伝統である書き初めや初釜、うどん作りなど日本の伝統にも関わらず、初めて体験することが多く、とても良い体験になりました。派遣国へ行った際に、日本の文化を海外の方へ自分の言葉で伝えられるよう、きちんと心にとめておきたいと思います。また、うどん作りでは日本食を海外の方に作ってあげる時に作ってあげられるよう、家でも自分で実際に作ってみたいと思います。初釜では日本人の私でもとても素敵な文化だなと感じました。綺麗な着物を身にまとい、自分の手でお茶をたててお出しするという素敵な文化を是非海外の方へ伝えたいなと思いました。書き初めでは、自分はあまり得意な方ではないのですが、日本の文字を教えてあげ、一緒に書き初めをする姿が頭に浮かび、とても日本のことを伝えるのが楽しみになりました。今回の経験を活かして、今後もより多くの日本の文化をしっかりと身につけられるように努力していこうと思います。素敵な体験をありがとうございました。（秋吉真鈴）

僕は初釜の途中から参加しました。他の候補生が初釜をやっているのを見ていて、思ったことはお茶を作るだけなのにこんな多くの作業があることを知りびっくりしました。お茶のお椀の角度や、飲むためにもお辞儀を何回もして、回すなどとは知りませんでした。うどん作りではこねればこねるほど生地が固くなってきて、とても大変でした。ホームステイ先で美味しいうどんを作れるように家で何回も練習したいです。（岩﨑鷹一郎）

今回は、始めての体験がたくさんできていい経験になったと思います。初釜では、初めてあのような形でお茶を頂いたので、とても楽しかったです。足が痺れてしまったり細かいところまで習得できなかったりしたので、もっと先生たちのようになりたいと思いました。書道では「実現」と書き、今まで自分の夢だった留学を努力し実現しようと強く決意できました。うどんはやっぱり自分で作ったものだからこその美味しさがありました。「自分が知らなければ、海外にも伝えられない。」今回このことを強く感じたので、日本についてなにを聞かれても答えられるようになりたいと思います。（岡部日向子）

自分のお正月について紹介するに当たり、日本のお正月の行事の歴史や由来を知ることができて改めて自分の国の文化への理解を深めることが出来ました。そして初釜では普段経験することの出来ない素晴らしい経験をすることができました。うどん作りは、普段麺から作ることはあまりないことなのでとても楽しかったです。作り方も簡単だったので留学先でホストファミリーに食べて頂きたいなと思いました。本日学べたことを留学先でもしっかりと活かし、沢山の海外の方に日本文化を広めたいと思います。貴重な経験をさせて頂き、本当にありがとうございました。（新嶋里奈）

本日は書き初め、初釜、うどん作りと多くの日本文化を改めて体験し新たに学んだことが沢山ありました。ありがとうございます。その中で私が最も印象に残った初釜は、はじめはお茶の頂き方から学び最終的には自らお茶を立てるという貴重な経験をさせていただきました。日本の代表的な文化である茶道を心得ることでさらに今まで知らなかった日本文化の奥ゆかしさを実感しました。私は剣道をやっているので先生のお話を聞きながら武道の精神で通ずる点があると感じ、より一層剣道を極めていくことで海外交流の武器にしたいと思いました。（望月はる香）

LINE ラインでフォトコン フォトコンテスト

街で見つけたロータリー

入選作発表

この度、公共イメージ委員会ではフォトコンテストを開催し、“街で見つけたロータリー”と題した作品を募集いたしました。コンテストには80点以上の作品の応募があり、多くの力作の中から各賞を選ぶことには苦労致しました。公共イメージ委員会賞、ガバナー賞、グランプリ、以上の3点を紹介いたします。応募された皆様には感謝申し上げます。 （菊池俊介）

【グランプリ】

作品名：一期一会
作　者：五十嵐友子

コメント：今という時間もこの季節も、今日会った人たちも一期一会。今日という日を忘れずに、明日はもっといい日が待っている。

【ガバナー賞】

作品名：祈り
作　者：せきたえこ

コメント：いつもより静かな夜に、雪原にそっと佇む姿が印象的でした。

【公共イメージ委員会賞】

作品名：ゆっくりウォーク、頑張ってね！
作　者：内山明夫

米山記念奨学委員会
修了式及び歓送会

文：一柳 達朗
入間
Tatsuro Ichiyanagi

2022年3月6日(日)に「2021-2022年度 ロータリー米山記念奨学生の修了式及び歓送会」がアルカーサル迎賓館川越にて執り行われました。毎度のことですが、会場に入る前には参加者はエントランスで抗原検査キットを受け取り新型コロナウイルスの簡易検査で陰性を確認してから場内へ。学友委員の東美栄さんの司会進行によりスタート。来賓の第2570地区ガバナーの水村雅啓様の挨拶を頂き、米山記念奨学会評議員の細井保雄様、統括委員長の渡邊藤男様からもお言葉を頂戴しました。終了学生には「奨学生サティフィケート（終了証）」がガバナーより送られ、またカウンセラーには感謝状が贈られました。受け取った奨学生はみな良い笑顔。滞りなく贈呈式は進み学友会長である周大亮さんから挨拶が有りました。

その後、歓送会へと入り、一人ひとりに豪華なお弁当が配られました。お酒はありませんがノンアルコールはフリードリンク制。お弁当は意外とボリュームがありました。会は進みここで米山記念奨学学友副委員長の田久保眞理子さんの司会進行で最後の一言スピーチがスタート。

奨学生からはロータリーでの思い出や学んだこと、希望、これからの進路等について話が出ました。「日本の事をもっと深く知りたい、もっと日本語を勉強して母国との懸け橋になりたい、日本文化をもっと知り、日本人のマナーの良さ、時間管理の徹底、社会奉仕の必要性など学ぶことが沢山ありました、子供が出来ました、大学院へ進学します、文部科学省から奨学金を受け取ることができるようになり、奨学金を少しずつ貯めて母国の為に使いたい、無事就職先が決まりました、人への感謝と思いやり、人との絆を学びました、研修旅行やクリスマス会などロータリーでの活動が楽しかった、奨学生の間に研究を2つ達成することが出来ました、将来は大学の先生になりたい、プロ野球観戦も出来ました、結婚しました、大学で博士課程になりました、初めはスピーチの準備に一週間かかったが経験を積み今では前日に準備できるようになりました（一部抜粋）」などなど、1分～3分程度のスピーチの中で様々なお話が出ました。奨学生たちは高い志を持って勉学に励んでいるんだなと改めて感じることが出来ました。

鶴ヶ島ロータリークラブの今年度会長、齊藤大祐様からもご挨拶が有り、1月30日（日）に行われた「第1回米山記念奨学生の日本語スピーチコンテスト」について御礼のお言葉を頂きました。ロータリークラブの更なる行動と成長を継続するために来年度は今年以上に大きな大会にしたいと考えているそうです。

最後に集合写真が撮られ無事終了式は終わりました。これから世の中に出ていく奨学生たちをロータリアンは見守っています。このロータリー活動で学んだことを生かして必ず自分たちの夢を実現させ、なくてはならない存在になるよう頑張ってください。みんな応援しています。本日はおめでとうございました。

第3グループ
【11クラブ】

- 飯能
- 日高
- 入間
- 入間南
- 所沢
- 新所沢
- 所沢西
- 所沢東
- 所沢中央
- 新狭山
- 狭山中央

第3グループIM、Youtube併用により開催

文:高橋 弘 飯能
Hiroshi Takahashi
飯能RC会長

第3グループでは、2022年2月27日(土)、ホテル・ヘリテイジ飯能sta.にて、当クラブ会員の和泉由起夫ガバナー補佐が主催者代表を務めるインターシティーミーティング（IM）を開催した。コロナ禍下における開催については賛否両論が交わされたが、15名で構成した実行委員会（神田康夫委員長）で検討をくり返した結果、Youtube によるオンライン参加を併用する形での実施を試みることとなった。当日は、定員380名の会場を確保する一方で出席者を80名に限定し、かつ各席毎に厚手のアクリルパネルを設置するなど最大限の安全対策を講じたため、水村雅啓ガバナー、西澤長次直前ガバナー補佐、各クラブの代表者のほかは新井重治飯能市長のみを来賓に迎えることとなったが、各会員に配信したYoutube における総リーチ数は182件に達し盛会裏に終了することができた。また、終了後には、小江戸川越「大地の園」の会副会長の杉田修一氏を講師に迎え「明治を耕した男・渋沢栄一」をテーマとする記念講演も開催した。当日の様子は、当クラブ公式ホームページ内のYoububeチャンネルに公開されている。

More dreams More service
もっと夢を
もっと奉仕を
【地区スローガン】

INTERCITY MEETING

飯能ロータリークラブ
https://www.hanno-rc.org

村田年度 地区チーム研修セミナー開催

文：忽滑谷 明 入間
Akira Nukariya
地区幹事

3月5日ウェスタ川越にて、地区チーム研修が行われました。地区チーム研修セミナーはガバナーエレクトにとって三大研修セミナーの一つ目になるものです。

水村ガバナーの挨拶、次年度研修リーダーとなる細井保雄パストガバナーによる挨拶もいただきました。村田ガバナーエレクトを支えていただく水村ガバナー、細井次年度研修リーダーです。

当日は村田ガバナーエレクトの国際協議会の次年度RI会長の考え方を基に趣旨説明が行われました。村田ガバナーエレクトの考えている地区の目標を地区役員の皆様に伝え、次年度の役割を説明し、役員の皆様に理解をいただく機会となりました。

Three major training

1 地区チーム研修セミナー

水村雅啓ガバナー

村田貴紀ガバナーエレクト

細井保雄次年度研修リーダー

私たち大人には、すべての子どもたちを

笑顔に、幸せにする義務がある。

【本庄ロータリークラブ主催】希望の風チャリティー講演

夜回り先生 水谷 修氏　講演会

文：滝沢文夫 Fumio Takizawa（入間）月信委員長

３月11日(金)に本庄市民文化会館にて、夜回り先生こと水谷修氏を講師にお迎えしてチャリティー講演が催されました。主催はロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会、国際ロータリー第2570地区青少年奉仕委員会、そして本庄ロータリークラブです。

チャリティー講演が行われたこの日はまさに3.11当日でもあり、黙祷で始まりました。本庄ロータリー金井会長、水村ガバナー、青少年奉仕中島委員長、よりご挨拶をいただき始まりました。

水谷先生のお話は、休むことなく、たっぷり１時間30分行われました。3.11で亡くなった人の話、薬物でボロボロになってしまった人の話などそのお話に誰しもが引き込まれていたようです。お話の趣旨は、夜の世界に入ってしまった子供たちを、何とかして昼間の世界に戻してあげようとするもので、そのために我々大人がその環境を作ってあげること、手助けをしてあげることが必要だとするものでした。

講演の最後に、ロータリー東日本青少年支援連絡協議会顧問の坂本パストガバナーより謝辞、並びにこれからも希望の風に皆様のチャリティーの必要性を話されました。2033年まで続くこの支援にはまだ5億円以上が必要とのことでした。本庄RCの会員が講演の前後にチャリティーをお願いしている姿も目に焼き付きました。

写真上：今回の主催、本庄RCの会員の皆さん。ロビーなどでチャリティー協力のお願いをされていました。
左中：本庄RC、金井福則会長。
左下：水村雅啓ガバナー。
下：講師水谷修氏と坂本パストガバナー。

補助金管理セミナー開催

【ロータリー財団委員会】

3月12日(土)、ウエスタ川越においてロータリー財団部門の地区補助金管理セミナーを開催しました。コロナ感染症の影響によりハイブリット形式で行いました。セミナーは、13:15～16:00まで寄付の大事さそして補助金の有効活用を村田貴紀ロータリー財団委員会統轄副委員長、今泉学之地区補助金委員長らの説明と質疑応答が行われました。

次年度、ロータリー財団プログラム（地区補助金申請）を希望されるクラブ様は、地区とのMOU（覚書）が必須となります。

今年度は、MOU取得のために以下の2種類の受講方法を用意しました。

❶ラーニングセンターの補助金管理セミナーコースの修了証のご提出。

❷会場参加またはZoom参加にて受講。

どちらか選択していただくことになっています。

表　彰

PHP	ポール・ハリス・フェロー
MPHP	マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
PHS	ポール・ハリス・ソサエティ
MD	メジャードナー
BF	ベネファクター
米山	米山功労者
米山M	米山功労者マルチプル
米山MD	米山功労者メジャードナー
数字	表彰回数

PHP

塚越 茂（本庄）

新 会 員 紹 介

入 入会年月日
勤 勤務先
役 役職
生 生年月日
紹 紹介者

（和光21幸魂）

李 大峰【Lee】
LEE DAEBONG

入 2022年2月25日
勤 博愛自動車工業株式会社
役 自動車販売・資産運用
生 1989年9月15日
紹 阿久津馨/鈴木早苗
韓国・釜山

（行田）

大石理恵
Rie Oishi

入 2022年3月3日
勤 小沢工業株式会社
役 代表取締役
生 1954年11月18日
紹 福島伸悦/大谷純一

Commendation

PHP

梅村孝雄 本庄

MPHP 2

須永秀和 本庄

PHP

斉藤一英 本庄

米山 7

加藤玄静 本庄

MPHP 6

茂木 正 本庄

MPHP

澁澤健司 本庄

米山 2

齊藤大祐 鶴ヶ島

米山 16

高柳育行 本庄

熊谷南
遠藤宏喜
Hiroyoshi Endo

入 2022年3月1日
勤 株式会社遠藤建設
役 代表取締役
生 1969年3月10日
紹 棚澤正行

熊谷南
三田 彰
Akira Mita

入 2021年12月2日
勤 株式会社ミタサイン
役 代表取締役
生 1969年9月27日
紹 土屋 進

訃 報

謹んで哀悼の意を表明し
心からご冥福をお祈り申し上げます

新井 好和 坂戸

ご逝去日
2022年3月1日
（享年90歳）

ロータリー歴
1982年11月1日入会
（在籍39年）

役職等
第32代、44代会長

■会員数・出席率（2022年2月）

	クラブ名	会員数 年初	2月末現在	2月入会数	2月退会数	本年度入会数	本年度退会数	2月度純増数	本年度純増数	女性会員1月末数	例会数	出席率 当月	通算
第1グループ（11RC）	川越	94	100	0	0	7	1	0	6	3			
	東松山	22	23	0	0	2	1	0	1	1			
	小川	9	9	0	0	0	0	0	0	2			
	坂戸	31	32	0	0	2	1	0	1	1			
	越生毛呂	14	14	0	0	0	0	0	0	1			
	川越小江戸	16	17	0	0	1	0	0	1	2			
	川越西	20	20	0	0	1	1	0	0	3			
	鶴ヶ島	26	28	0	0	2	0	0	2	3			
	川越中央	28	26	0	0	0	2	0	-2	0			
	坂戸さつき	21	20	0	0	0	1	0	-1	4			
	東松山むさし	43	42	0	0	1	2	0	-1	7			
	小計	324	331	0	0	16	9	0	7	27			
第2グループ（7RC）	朝霞	25	24	0	0	0	1	0	-1	1			
	志木	42	42	0	0	0	0	0	0	2			
	富士見	37	34	0	0	0	3	0	-3	0			
	新座	26	25	0	0	0	1	0	-1	2			
	和光	12	16	1	0	4	0	1	4	7			
	朝霞キャロット	10	10	0	0	0	0	0	0	0			
	新座こぶし	9	9	0	0	0	0	0	0	2			
	小計	161	160	1	0	4	5	1	-1	14			
第3グループ（11RC）	入間	36	37	0	0	2	1	0	1	2			
	所沢	55	59	0	0	4	0	0	4	4			
	飯能	70	70	0	0	1	1	0	0	1			
	新所沢	21	20	0	0	0	1	0	-1	2			
	日高	18	18	0	0	0	0	0	0	3			
	所沢西	34	34	0	0	0	0	0	0	4			
	新狭山	19	19	0	0	0	0	0	0	0			
	所沢東	45	46	0	0	2	1	0	1	1			
	入間南	43	43	0	0	0	0	0	0	0			
	所沢中央	20	20	0	0	0	0	0	0	1			
	狭山中央	21	20	0	0	0	1	0	-1	6			
	小計	382	386	0	0	9	5	0	4	24			
第4グループ（11RC）	深谷	56	55	1	0	1	2	1	-1	10			
	本庄	76	77	0	0	3	2	0	1	5			
	秩父	48	49	0	0	2	1	0	1	1			
	寄居	30	32	0	0	2	0	0	2	0			
	児玉	3	3	0	0	0	0	0	0	0			
	岡部	14	15	0	0	2	1	0	1	1			
	深谷東	65	70	0	0	5	0	0	5	0			
	川本	5	6	0	0	1	0	0	1	0			
	皆野・長瀞	10	10	0	0	0	0	0	0	0			
	2570パスポート	2	4	0	0	2	0	0	2	2			
	深谷ノース	29	28	0	0	0	1	0	-1	1			
	小計	338	349	1	0	18	7	1	11	20			
第5グループ（10RC）	熊谷	89	91	0	0	3	1	0	2	3			
	行田	58	59	0	0	1	0	0	1	5			
	羽生	43	44	0	0	2	1	0	1	4			
	加須	26	26	0	0	0	0	0	0	0			
	熊谷西	9	9	0	0	0	0	0	0	0			
	行田さくら	54	56	0	0	3	1	0	2	2			
	熊谷東	24	23	0	0	0	1	0	-1	2			
	吹上	7	6	0	0	0	1	0	-1	2			
	熊谷籠原	27	28	1	0	1	0	1	1	1			
	熊谷南	22	24	0	0	2	0	0	2	3			
	小計	359	366	1	0	12	5	1	7	22			
50RC	男性会員数	1464	1485	2	0	51	30	2	21				
	女性会員数	100	107	1	0	8	1	1	7				
	合計	1564	1592	3	0	59	31	3	28				

【出席率】新型コロナ感染防止の為、各クラブの例会が自粛されております。
また、二〇一九年度の規定審議会により欠席のメークアップが拡張されております。
以上二つの理由により正確な出席率の報告が非常に困難となっております。
従いまして、出席率の月信報告はしばらくお休みさせていただきます。

■スケジュール（2022年4月-5月）

	日時	担当委員会名	内容	場所
4月	2日（土）	2570 地区	PETS	ウエスタ川越
	3日（日）	米山記念奨学委員会	新奨学生・オリエンテーション カウンセラー会議	国立女性教育会館
	9日（土）	ロータリー財団委員会	勉強会	
	10日（日）	青少年奉仕委員会	オリエンテーション	
	24日（日）	第4グループ	インターシティーミーティング	グランドホテル深谷
5月	7日（土）	2570 地区	地区研修協議会	ラ・ボラ・ラクテ川越
	8日（日）	青少年奉仕委員会	オリエンテーション 閉講式	
	21日（土）	米山記念奨学委員会	ロータリーの森清掃	ウエスタ川越

表紙：燕岳（2,763m）

花崗岩に覆われた燕岳。山頂稜線からは北アルプス中心部をはじめとした本州中部の山々が展望できる。また、山頂付近はイルカ岩などの奇岩が並び、一種独特の景観を魅せる。コマクサ、イワギキョウなどの高山植物を簡単に鑑賞することも。思い出深いのは稜線に建つ燕山荘。歴史のある山小屋だ。夕食後のオーナーの山の話とホルンの音色は忘れられない。そして、中房温泉へ下山する途中の合戦小屋で食べた名物スイカも旨かった！（水村）

ガバナー月信　4月号
2021-2022 年度　Vol.10
2022 年 4 月 1 日発行

国際ロータリー第2570地区 地区事務所
〒355-0028 埼玉県東松山市箭弓町 2 丁目 5 番 14 号
ガーデンホテル紫雲閣内
[TEL] 0493-21-2570
[FAX] 0493-21-2571
[mail] d-office@mail.rid2570.gr.jp
[web] https://www.rid2570.gr.jp

[月信原稿送信先]
info2021@rid2570.gr.jp
ガバナー月信編集委員会　委員長 滝沢文夫